



新垣 勇太氏



上原 正次氏






糸満市長選の立候補予定者 政策比較表



賀数 郁美氏



當銘 真栄氏

<p>■「財政再建」 財政再建と将来につけを残さない持続可能な補助金の活用、重要事業に注力、また民間の活力導入で市有地の効率的な利用を推進</p>	<p>■旧南部病院跡地に「夜間救急センター」を整備 ■企業を誘致し、雇用の拡大と税収アップ ■無電柱化事業 ■給付型奨学金を大幅に拡大</p>	<p>① 最重要政策</p> 	<p>■兵庫県明石市が取り組んだ子育て予算五つの無料化。出生数がマイナスに転じた今、人口減を我が市の最重要課題と位置付け「子を生み育てたい」という思いに市が全力でサポートしていくことが持続可能な社会の実現につながる</p>	<p>■国の補助金等市民負担軽減で取り組む福祉避難所や防災公園、社会福祉協議会の整備のほか、特色ある教育を実践する高嶺小中学校一貫校の早期開校など</p>
<p>■「物流団地構想の早期実現」 市の土地開発公社を核に民間活用を進め、パーク PFI を活用して地元企業の参加を促し、地域経済を活性化する計画</p>	<p>■企業を誘致し、雇用の拡大と税収のアップ。ホテルや飲食街などの「海の駅」構想を推進 ■農水産業から観光産業まで幅広い経済対策</p>	<p>② 経済振興策</p> 	<p>■まずは大きな経済振興を打ち出すのではなく、現在のザル経済にてこ入れを行い、地域内で循環する経済の仕組みを構築しなければならない</p>	<p>■真栄里地区や南部病院跡地への企業誘致のほか、農水産物のブランド化、野球・サッカー等スポーツコンベンションで観光振興、地域通貨導入で市内経済刺激など</p>
<p>■子育て環境充実と教育行政の強化を最優先に、保育士待遇改善、研修拡充、きょうだい同園保育の実現で負担軽減。全世代支え合う地域形成を目指す</p>	<p>■大学進学学生に対する給付型奨学金の給付額を増額 ■ケータリング事業を導入することによる学校給食費の無償化に取り組む</p>	<p>③ 子育て施策</p> 	<p>■最重要政策と同様。予算の担保ができればさらに拡充を続ける</p>	<p>■子どもの貧困・医ケア児・ヤングケアラー対策を含む「こどもまんなか社会」の実現のほか、スマホ依存改善のため「眠育」導入、幼児のインクルーシブ遊具の設置など</p>
<p>■普天間の課題を最優先、辺野古については地元の名護市が国と協議することが望ましい。遺骨が混じった土砂の使用は断固拒否する</p>	<p>■県民投票の結果を重く受け止め、県と国の協議で解決を望む。南部の土砂に関しては県民感情も重く受け止めたい。ただ、行政としては慎重に検討したい</p>	<p>④ 辺野古新基地建設への考え</p> 	<p>■反対の姿勢は変わらない。遺骨を含む可能性のある土を米軍基地建設に使用することは許されない。玉城知事と連携し、しっかりと取り組んでいく</p>	<p>■沖縄の苦難の歴史と平和希求の精神に根ざした「建白書」の持つ普遍的価値を支持し、最終的には基地のない平和な島を望む。遺骨の混じった土砂はいかなる工事にも活用してはならない</p>
<p>■産業振興には多角的な手法を取る。農業用水の確保や6次産業化の推進、AI 活用農業、ブランド化、水産市場の強化、観光支援など</p>	<p>■独居老人の安心安全な仕組みを導入する ■市内の公園を老若男女全ての世代が憩えるようにリニューアルする</p>	<p>⑤ その他の政策</p> 	<p>■糸満にもともとあった文化である稲作の復活や、偉人など、眠っている資源に磨きをかけ、まちづくりに取り組む</p>	<p>■自然災害が激甚化する中、防災・減災対策が急がれる。現在国の補助制度を活用し進める急傾斜地崩壊対策や冠水被害軽減策が遅滞しないよう全力で取り組む</p>